

■米国：オイスタークリーク発電所の運転免許が失効寸前で更新認可される

原子力規制委員会（NRC）は2009年4月8日、オイスタークリーク原子力発電所（ニュージャージー州）の運転認可更新を認可した。NRCは今回の審査に当たり、独立安全機関の原子炉安全諮問委員会（ACRS）および原子炉安全許認可会議（ASLB）の判断を仰いだことや多様な市民団体の意見を聴取したため、審査期間が4年に及んだとしている。また、地元のニュージャージー環境保護局が、想定されるテロ攻撃に伴う環境評価を運転認可更新における必要事項に挙げていたが、「運転認可更新に際してテロ攻撃に伴う環境評価は不要」との第3巡回控訴裁判所の判決（4月1日）があり、これが今回の認可に大きく働いたと見られている。同発電所は1969年に運転が開始され、国内では老朽化プラントの1つに数えられている。今回の運転認可の更新が許可されなければ4月9日に失効する予定であった。